

履歴書及び業績書の記入要領（教授、准教授及び講師）

沖縄県立芸術大学の人事選考に際し、ご提出願う書類は以下の通りです。

1. 履歴書（第1号様式）
2. 研究芸術活動業績書（第2号様式）
3. 教育校務活動業績書（第3号様式）
4. 社会活動業績書（第4号様式）
5. 自薦書（採用後の本学における教育、研究活動について）（第5号様式）

特に指定された場合を除き、すべての書類を提出願います。

記入の要領は以下の通りです。

1. 履歴書（第1号様式）

- * 生年月日の欄はすべて西暦で記入し、年齢は採用予定日現在のものとする（非常勤講師等については、採用予定年度の4月1日時点の年齢を記載）。
- * 学歴は高校以降の自欄に入学、至欄に卒業・修了・中退の年月を記入する。事項欄には、学校名のほか、課程、学部、学科、専攻等の名称も記入する。
- * 職歴は自欄に就職年月、至欄に離職年月、事項欄に機関・職位を記入する。
最終学校卒業等の月の翌月から空白期間がないように記入する。なお、無職の期間がある場合は、事項欄に「無職」と記入する。
- * 学位は取得年月日、機関、論文題目を記入する。
- * 称号、資格は授与された年月日、授与機関、授与理由を記入する。
- * 賞罰・処分歴等は、賞としては、公的なもの（国や都道府県庁などからの表彰等）のみ記入し、罰・処分歴等としては、刑事罰及び懲戒処分を記入する。過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、必ず処分の内容及びその具体的な事由を記入する。

2. 研究芸術活動業績書（第2号様式）

【研究芸術活動歴】

- * 現在までの研究活動または芸術活動の軌跡と成果を総括して自由に記述する。例えば、所属した研究機関及び研究テーマ、展覧会・演奏会の企画・制作、留学・研修の期間と機関、プロジェクトへの参加、研究・芸術活動助成金の獲得等

【研究芸術活動の業績目録Ⅰ（主要な業績）】

- * 当該目録には、主要な業績10件以内について、1頁以内にまとめ簡潔に記載すること。また、過去10年以内の業績を1件以上含めること。
- * 著書・研究論文に相当する学術研究の業績、個展・リサイタル等に相当する芸術活動、作品発表、各種展覧会・コンクールへの入選、展覧会・演奏会の企画（アートマネジメント）等の業績を記入する。
- * 題目等の欄には、書名、論文名、作品名、個展・各種展覧会・リサイタル・コンク

ール等のタイトルを記入する。

***発表年月**の欄には、著書及び論文掲載雑誌の刊行年月、展覧会・演奏会等の開催年月を記入する。

***発行所・発表雑誌・発表の場**等の欄には、出版社、論文掲載雑誌名、展覧会・演奏会等の会場を記入する。

***備考**の欄には、共著などの形態、展覧会・演奏会（個展、リサイタル等を除く）における役割、賞位等を記入する。

【研究芸術活動の業績目録Ⅱ（その他の業績）】

*当該目録には、【研究芸術活動の業績目録Ⅰ】に準ずる業績を記入すること。件数に制限はないが、記入方法は【研究芸術活動の業績目録Ⅰ】に倣うこと。なお、この書類の提出は省略しても差し支えない。

3. 教育校務活動業績書（第3号様式）

***主な担当授業とその内容**には、大学名の欄に授業を行った大学その他の教育機関の名称、概要の欄にその内容を簡潔に記入する。

***教育活動の成果**には、学生指導（卒業論文、修士論文の指導、博士論文の審査及びそれに相当するもの）の成果、人材育成の成果（学生の就職等）、指導学生の受賞等を記入する。

***大学・学部等の役職**には、大学及び研究機関における校務等（委員会の委員を含む）を、期間、役職名（括弧内に機関）によって記入する。

4. 社会活動業績書（第4号様式）

*所属学会及び役職、招待講演等、審査員、審議会等の委員、大学及び研究機関以外での専門領域に係る業績または社会活動について記入する。

5. 自薦書（採用後の本学における教育、研究活動について）（第5号様式）

*本学に採用後、本学において教育、研究へどのように取り組むつもりであるか、自由に記入する。